

JAAF
SHIGA

滋賀陸協広報

一般財団法人 滋賀陸上競技協会

〒520-0037 大津市御陵町4-1 皇子山陸上競技場内2-1室

TEL/fax077-527-3925 <http://srkshiga.com>

この勢いを2025 滋賀国スポへ

一般財団法人滋賀陸上競技協会

会長 野村昌弘

秋冷どころか残暑厳しき折、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。2025国民スポーツ大会まで残り1年となりました。来年の9月は準備万端、全国から選手のみなさまを迎え「撃つ」体制が整っていることと思います。

ところで、本年度上期シーズンは、来年の国スポに向けて、勢いに乗ったシーズンでありました。「800m日本新記録おめでとうございます」。落合晃選手(滋賀学園)は、6月の近畿インターハイ予選会において日本高校新。7月末のインターハイにおいて日本新記録樹立。また、ペルーで開催された第20回U20世界陸上選手権大会では第3位入賞と、世界で戦える選手に成長していただき大変喜んでます。

また、落合晃選手、西田有里選手(立命館大)の2人は第21回U20アジア選手権大会でもそろって優勝されました。そして、第108回日本選手権では、滋賀の選手たちが活躍してくれました。落合晃選手(800m 優勝)、山本亜美選手(立命館大 400mH 優勝)、小館充華選手(染めQハンマー投第2位)瀬古優斗選手(FAAS 走高跳入賞)。まずは滋賀県選手のSAGA国スポでの活躍を期待しております。

8月のパリオリンピックでは女子やり投げ北口榛花選手が金メダル。実に96年ぶりのメダル獲得となりました。滋賀県出身の桐生祥秀選手も4×100m第3走者で素晴らしい活躍を見せていただきました。また、パラリンピックでは、滋賀県出身の福永凌太選手が見事な銀メダル。今後もさらなる躍進を願っております。

一方、競技運営では、国スポのリハーサル大会として位置付けた近畿陸上競技選手権大会は、台風の影響により中止となりました。リハなしのぶっつけ本番は非常に危険であり、何らかの対策を考えていきたいと思っております。

最後になりますが、この勢いをSAGA国スポで発揮し、2025国スポにつないでいきましょう。滋賀の代表選手の益々の活躍を期待しております。

◎福永選手 銀メダルおめでとうございます！



【福永選手より】

今回のパリパラリンピックの舞台は、パラ陸上を始めたときから「ここで1番になる」と決めていた場所であり、それまでの競技生活から考えると憧れの場所でした。そんな舞台に出場することを考えている中で、ふと「自分のことを見てくれる誰かのために走りたいな」と思うようになり、もちろん1番にな



ることは目指してはいましたが、その時に自分のやるべきことをやろうと、緊張はあったもののその憧れの舞台を楽しむことができました。

今大会では大会前、大会後ともに滋賀県からのメッセージも多く頂き、地元で応援してもらえているということがすごく力になりました。本当にありがとうございます。今後も競技生活はまだまだ続いていくので、見ていても頂けると幸いです。

福永凌太選手（野洲市出身）が先日行われたパリパラリンピック、男子400mの視覚障害のクラスで初出場ながら銀メダルを獲得されました。

昨年の世界選手権では同種目で金メダルを獲得されています。さらなるご活躍を期待しております。



【強化委員会】

■第108回日本陸上競技選手権大会 6月27日～30日 新潟 デンカビッグスワンスタジアム

今大会も多くの滋賀県選手が大活躍しました。女子100mでは3名の選手が決勝に残り、素晴らしいレースを見せてくれました。4位入賞を果たした山中日菜美選手は、自身過去最高の順位でゴールし、レース後には最高の笑顔を見せました。6位には奥野由萌選手、7位には壹岐あいこ選手が入り、過去最多の入賞者となりました。滋賀県の短距離のレベルが着実に上がっていることを感じます。400mハードルに出場した山本亜美選手は、見事な4連覇を達成しました。今年の国スポ（国民スポーツ大会）から滋賀県チームで出場する小舘充華選手（ハンマー投）は惜しくも2位でしたが、国スポでは優勝を期待しています。

男子選手では、藤原孝輝選手（走幅跳）が6位、瀬古優斗選手（走高跳）が7位タイという活躍を見せました。そして今大会で最も注目を集めた選手と言っても過言ではないのが、滋賀学園高校の落合晃選手（800m）です。予選ではU20日本新記録と大会記録を更新し、決勝では雨が降る中で社会人選手を抑えて見事に優勝しました。しかし、狙っていたパリ五輪標準記録と日本記録にはあと一步届かず、優勝選手がゴール直後に非常に悔しそうな表情を見せたことは、多くの方の記憶に残っているでしょう。高校生が日本選手権で優勝するのは、まさに見事な快挙です。



■SAGA 国民スポーツ大会へ向けて

8月11日の理事会で、今年のSAGA国民スポーツ大会の選手29名が承認されました。今年から国民体育大会は「国民スポーツ大会」へと名称が変更されます。国スポに向けたミーティングや合宿も終わり、今年も「滋賀県チームのために1点でも多く取りたい」という強い気持ちを持った選手たちが集まり、成年・少年が交流を深めながらチームが始動しています。頼もしい選手たちばかりで、今大会も活躍が楽しみです。

来年は滋賀で国スポが開催されます。今年はその前年度にあたる大事な大会となるので、ミスなく終えられるよう、スタッフ・選手が一丸となって準備を進めていきます。今年も多くのご声援をよろしくお願いいたします。

【 マスターズ 】

■2024年度滋賀スポーツ・レクレーション祭マスターズ陸上競技大会 5月26日 布引陸上競技場



数年ぶりのハードル種目と初めての立ち五段。18才から85才までの244名の選手が汗を流しました。

また昼の時間を利用して、功労賞、勲功章、功績賞、日本記録賞、県記録賞の表彰が行われ、40余名の選手に表彰状や盾が送られました。

【 普及委員会 】

■日清食品カップ第40回滋賀県小学生陸上競技交流大会 7月7日 皇子山陸上競技場



暑すぎるくらいの天気でしたが、519名の選手が日頃の練習の成果を発揮してくれました。

今大会の結果により、以下の選手が9月22日(日)に新国立競技場で行われます「日清食品カップ第40回全国小学生陸上競技交流大会」に滋賀県代表として出場いたします。皆さま応援よろしくお願いいたします。

5年男子 100m	川橋 奏太 (ランプロアスリートクラブ)	14.85(-4.6)
6年男子 100m	岩澤 京介 (ランプロアスリートクラブ)	13.32(-3.6)
5年女子 100m	松實 珠理奈 (大津スキースポーツ少年団)	14.49(-1.5)
6年女子 100m	石川 結月 (らんクラブ)	14.32(-2.5)
男子コンバインドA	櫻井 陽真 (草津JAC)	1937 [80mH 13.93(-1.8)・走高跳 1m25]
男子コンバインドB	山田 武利 (アスリートキッズ)	1987 [走幅跳 4m45(+1.3)・ジャベ 44m70]
女子コンバインドA	今岡 夏希 (栗東陸上教室)	1523 [80mH 15.34(-3.8)・走高跳 1m10]
女子コンバインドB	岩崎 由紗 (長浜陸上教室)	1731 [走幅跳 4m24(+1.6)・ジャベ 34m97]

混合 4×100m	塩田 湖春・辻田 航輝・高岸 愛海 田中 楓太・清水 陽斗・森本 美咲 (びわこ RUNNERS クラブ)	54.33
-----------	---	-------

(記録は今大会の決勝時のもの)

【 中体連 】

■第73階近畿中学校総合体育大会 8月6日～7日 京都市たけびしスタジアム

滋賀県勢は、男子2年生100m、男子共通四種競技、女子共通1500mの3種目で優勝を果たしました。

■第51回全日本中学校陸上競技選手権大会 8月17日～20日 福井県9.98スタジアム

男子共通四種競技で守山市立守山中学校の國松滉選手が2720点で5位入賞を果たしました。また、男子100mでは甲賀市立信楽中学校の青木優羽選手が、トライアルレースで中学2年生歴代4位となる10'86 (-1.5)の素晴らしい記録をマークしました。

今後も秋のトラックシーズンや駅伝での活躍に期待しています。



【 高体連 】

■2024年度全国高等学校陸上競技対校選手権大会 7月28日～8月1日 福岡県博多の森陸上競技場

近畿 IH で全国 IH の出場権を獲得した男子個人種目8名と比叡山高校男子4×400mR、女子個人種目2名と草津東高校女子4×400mRが出場しました。

結果は、男子800mにおいて落合晃選手(滋賀学園)が1'44"80の日本新記録・U20日本新記録・日本高校新記録・大会新記録の素晴らしいタイムで見事優勝し、2連覇を達成しました。落合選手は8月27日～31日の日程でペルーのリマで開催されるU20世界陸上競技選手権大会の日本代表選手にも選出されました。

男子の1500mでは菅原爽選手(草津東)が自己新記録となる3分48秒42で8位入賞を果たしてくれました。女子では2年生の津本瑛夏選手(草津東)が女子400mで7位入賞と来年

につながる素晴らしいレースをしてくれました。

他にも決勝や準決勝進出を果たした選手も多く、

10月11日～15日に行われるSAGA国民スポーツ大会での活躍も期待できます。



【 編集後記 】

来年の国スポに向けて滋賀県の選手が大いに活躍しています。ただ、リハーサル大会(近畿選手権)が中止となり、心配されるところではありますが、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる舞台となるよう、協会をあげて全力で取り組んで参ります。みなさま方のご協力をお願いいたします。